

○埼玉県内私立高校入試・昨年度のまとめ

前号に引き続き、「合格パスポート」の埼玉県内私立高校の昨年度の入試概況を紹介します。

[埼玉県内私立高校の入学者選抜] ※みなさんは2023年度（令和5年度）入試です。
埼玉県では推薦・一般入試や前期・後期制などの分けがなく、各校が1/22以降独自の方法で実施しています。ただ、全体的には単願は1/22のみとし、併願は1/22、1/23、1/24などの複数の入試日程を設定している学校が多数を占めています。
約半数の学校では2月入試を実施しますが、補充募集の意味合いや他県の受験生のためのものである位置づけなので利用者は少なく実質的には1月で入試が終わります。
検査は単願・併願ともに国数英の3科が主流で単願者には面接を課するところが多くあります。またマークシート方式を採用している学校もあります。
県内私立高入試には東京や神奈川のように中学校の先生と高校の先生で話し合う「入試相談」はありません。受験生自らが説明会に行き、高校の先生と「個別相談」を受けてから入試に臨むスタイルが一般的です。塾に通っている生徒はあらかじめ塾の先生からの情報を得て「個別相談」に臨むケースも多いようです。個別相談では中学校の成績のほか学力がわかる資料などを用いて合格の可能性について話し合います。
埼玉県の私立高校はひとつの学校に数多くのコース（クラス）を設定しているのが特徴です。コースごとに基準が異なり幅広い学力層をカバーすることができます。

～具体的な学校名の表は省略します（冊子本体をご覧ください）～

2022年度入試では、前年度に応募減となった慶応義塾志木や早稲田大学本庄、立教新座の大学附属トップ3に応募者が戻ってきました。また、栄東は特待入試の試験科目を5科または3科としたことや入試日を前倒ししたことなどもあり3倍増、大宮開成や開智も2割以上の増となりました。

一方で単願基準をアップした星野（共学部）や東京農業大学第三の単願応募者が減少したほか、コース改編をした秋草学園や最も入りやすいコースを募集停止した叡明、細田学園は応募減となりました。しかし同じくコースを改編して基準を上げた浦和叡明は単願応募者が増加し高い人気を示しました。

埼玉の中学生が東京都や他県の私立高校を受験する際も、県内の私立高校と同様、各家庭と高校側との個別相談の実施となります。

東京都の私立高校の入試概況の詳細については、「合格パスポート」の冊子をご覧ください。

<通信制高校・専修学校 など>（学校名の紹介のみ）…学校案内等が届いています。

- ・日々輝学園高等学校（入間市）
- ・あずさ第一高等学校（立川キャンパス）
- ・郁文館夢学園 ID 学園高等学校（水道橋キャンパス・池袋キャンパス ほか）
- ・星槎国際高等学校 大宮キャンパス（さいたま市）
- ・国際製菓専門学校（東京都立川市）
- ・ルネサンス高等学校（茨城県久慈郡大子町、新宿代々木キャンパス、横浜キャンパス）
- ・AIE 国際高等学校（兵庫県淡路市）
- ・ワオ高等学院（岡山県岡山市）
- ・NHK 学園高等学校（東京都国立市）
- ・埼玉美術学院（さいたま市） ※無料体験授業・夏期講習会の案内
- ・武蔵野美術学院（東京都国分寺市） ※無料体験授業・夏期講習会の案内
- ・グルノーブル美容専門学校（児玉郡神川町）
- ・東京芸能学園 高等部（東京都新宿区）
- ・北海道芸術高等学校 東京池袋サテライトキャンパス（東京都豊島区）